

DE2-115 Media Computerの仕様

DE2-115 Media Computerとは

- DE2-115の教育プログラム(University Program)で用意されてるサンプルの回路データ。
- こいつを改造すればいちいちゼロから設計しないで済む。
- ただ、ボードのデバイスは全部使えるようになってるわけではない。

使える機能

- JTAG(こいつなければ転送とかできない)
- Audioデバイス
- VGAデバイス(Character buffer, Pixel Buffer(DMA転送))
- LCD
- シリアルポート(RS-232)
- FPU(ないと浮動小数演算できないかソフトウェア処理で超重い)
- PS/2ポート(マウスとかキーボードとか)
- パラレルポート(スイッチ、ボタン、7seg, 赤色LED, 緑色LED, 他)
- SRAM(VGAで使う設定らしい)
- SDRAM
- Interval timer(時間関係の。タイマ割り込みするのに使ったり。)

使えない機能(改造して自力で実装する)

- SDカード
- USB(USBホストも実装すれば使える)
- イーサネット
- IrDAレシーバ(赤外線レシーバ, ※テレビのリモコンはIrDAじゃないから受信するには回路を一から実装しなければならないかもしれない(未検証))
- Flashメモリ
- EEPROM
- EPCS64(回路データ保存に使う)
- だいたいQsysのUniversity Programでサンプルのコンポーネントがあるからそれらが見える。